

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Orange西延未		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日	～	2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 12月 12日	～	2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様なニーズに応える柔軟性 利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じて、個別対応や小集団対応など、柔軟な支援プログラムを提供しています。保護者様のニーズに合わせてサービスを組み合わせ、児童の興味や能力を引き出す療育プログラムを心掛けています。これにより、児童が自分らしく、かつ最良の形で成長できるよう、支援を行っています。	職員が利用児童一人ひとりの様子を細かく観察し、適切な支援の方法を模索しています。特に、絵カードや視覚支援を活用して、利用児童が安心して活動できる環境を整えています。また、学校への不適応の児童の不安な気持ちに寄り添いながら、将来への見通しを共に模索できる活動を行っています。	支援方法の選択肢をさらに広げるため、最新の療育技法の導入を検討していきます。また、利用児童が自発的に活動に取り組む機会を増やすために、新しいプログラムの開発にも力を入れていきたいです。児童がより積極的に学び、成長できるような環境作りを目指します。
2	高い専門性を活かした個別支援 最重度の障害を持つ方々への療育経験や専門的な知識を基に、利用児童一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成・実施しています。特に、発達障害や行動面での特性を持つ児童に対しては、細心の注意を払って対応し、最適だと思われる支援を提供しています。また、中高生の児童には、将来の進路選択・決定に向けて、進路相談への対応と適切な学習準備・指導を行っています。	利用児童の記録や支援計画は職員間で共有する仕組みを整えています。これにより、支援の一貫性が保たれ、児童に対して常に必要な情報を共有された上で支援ができるようにしています。職員全員が同じ情報を基に支援を行うことで、より効果的な支援が提供しています。	職員のスキルアップのため、より専門性の高い研修の導入や資格取得支援を拡充していきます。また、最新の療育ツールや技術の導入を進め、実践的な支援力をさらに強化していきます。日々の行動観察などインフォーマルなアセスメントに努め、多角的な実践力も高めていきます。
3	支援の一貫性と保護者様との信頼関係 当事業所は離職率が非常に低いです。そのため担当が変わらず継続的に児童の発達に合わせた支援を行うことができます。また、支援は全職員で共有され、支援の一貫性が保たれることで、より効果的なサポートが提供されています。 保護者様との信頼関係も非常に重要視しており、支援の進捗や児童の様子をごまめに共有しています。支援計画の内容についてや児童の成長、保護者様の悩みなどについても積極的に相談し、連携を強化しています。	支援目標を明確に設定し、保護者様と共有することにより、家庭と事業所が連携して支援を進めることができるよう努めています。目標を共有することで、保護者様と事業所が共通の認識を持ち、児童の目標達成に向けた支援を協力して行えるようになります。また、利用児童の成長に応じた目標の見直しを定期的に行うことで、支援の内容を柔軟に調整し、常に最適な支援を提供できる体制を整えています。児童の発達やニーズに対応し、より効果的な支援が実現できるよう心掛けています。	保護者様への情報発信を強化し、日々の支援内容や児童の様子、イベントの様子などを積極的に共有することで、保護者様との連携をより深めていきます。この取り組みによって、保護者様が当事業所の支援内容を理解しやすくなり、家庭との協力体制が一層強化されると考えています。支援内容の透明性を高めることで、保護者様が安心してお子さまを預け、より良い支援ができる環境を作り上げられると考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援開始前、終了後等の打ち合わせや振り返りが不十分 支援開始の打ち合わせができない時もあり、チームの連携に影響することもあります。また、支援が終了した後の振り返りや評価が十分に行われていないことがあり、支援の効果や問題点を正確に把握することができず、次回の支援に活かすことができません。	打ち合わせ・振り返りの時間不足 支援開始時の打ち合わせや支援終了後の振り返りの重要性に対する意識が不足している。このため、情報の連携や支援の質向上に向けたフィードバックが不十分となり、次回の支援に生かすための改善点が見逃されてしまう危険性があります。	時間確保と効果的な評価と設定の見直し 支援開始前にその日の活動や役割分担について、ビジネスチャットや動向表を活用して職員同士の連携を密にします。また、支援が終了した際には必ず振り返りの時間を確保し、支援の効果を評価するようにしていきます。この振り返りを通じて、どのような支援が効果的だったのか、改善が必要な部分はどこかを明確にします。支援の質をさらに向上させ、より効果的な支援が提供できるようしたいです。さらに、職員全員参加の打ち合わせが難しいため、施設長と主任が情報共有をする時間を設定し、情報の収集と発信を確実に行っていきます。
2	地域に開かれた事業運営の実施がない 現在、地域に開かれた定期的な連携活動が不足しており、これにより姫路地域全体に住む子どもへの支援が滞る可能性や断片的な支援が行われる危険性があります。地域との連携を強化することは、支援の充実を図るために重要な課題だと思っています。	地域連携の危険性と特性への配慮 地域連携の重要性については認識していますが、障害特性や安全面での懸念から、具体的にどのような方法で地域の方々に事業所に受け入れられるかについては慎重にならざるを得ません。特に、無差別に地域の方々を受け入れることに対して、障害特性に配慮した対応が求められるため、どのような方法が最適かを慎重に検討する必要があります。	地域交流の推進とハードルの克服 まずは、地域交流を進めるために、地域の行事に積極的に参加する形で連携を深めていきたいと考えています。地域の方との接点を増やし、理解を深めたいです。 ただし、地域住民を事業所のイベントに招待するためには、まだ多くのハードルがあると感じており、これらの課題を一つずつクリアし、地域連携を進めていくしかありませんが、現状は難しいと言わざるを得ません

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Orange西延末
------	-----------

公表日 2025年2月5日

利用児童数 2024年12月現在 43名

回収数 30 (回答率69%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28(94%)			2	また機会があれば見学がしたいです	児童が活動している時間帯での見学は難しい状況ですが、活動終了後の時間を利用した見学については検討し、出来る限り対応させていただきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26(87%)	1		3			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28(94%)				2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30(100%)						
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30(100%)				子供にあった専門性のある支援をしていただき、安心して本人も心を開いています 子どものことをわかろうとしてくださる姿勢に感謝しております	これからも情報共有や職員の専門性を高め、適切な支援を継続して行えるようにしていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30(100%)						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29(97%)				1	とても理解していただいて柔軟に対応していただけているので良いと思うのですが、支援計画が客観的とは言いがたい気がします。	個別支援計画の客観性の向上に努めます。保護者と内容を共有し、納得いただける個別支援計画の作成を目指します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等	30(100%)					しっかりと、子供の様子や特性を見て必要に応じ	これからも五領域に沿った支援が出来るよう努めて
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30(100%)						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30(100%)					毎回工夫されており楽しそうです	これからも活動を通して様々な体験や経験が出来るようにプログラムを工夫していきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15(50%)	4	2	9			交流を実施した際にはおたよりやHPを通して活動内容を全ての保護者様へ周知できるようにしたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30(100%)						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27(90%)	2		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16(53%)	7	3	4			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30(100%)					日頃からしっかりと理解して対応してくださっています。	これからも共通理解を深め、子どもたちの成長を支える環境づくりに努めてまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29(97%)		1		子育てにたいして悩むことも多いですが具体的な対応のしかたなど助言いただき、本当にありがたいです。	保護者様の子育てに関する悩みに寄り添い、引き続き具体的な助言や支援を丁寧に行い、保護者の方々が安心して環境作りに努めます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30(100%)				しっかり寄り添ってくださいます。	これからも共感的な姿勢を大切にし、子ども達と保護者の皆さまに安心いただける支援を心がけていきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15(50%)	3	7	5	兄弟の子とも気にかけてくださり本当に助かっています。 交流あれば参加したいです	引き続き、兄弟を含むご家族全体に寄り添いながら安心していただける支援を心がけてまいります。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27(90%)	1		2	他の所(学校等)と連携をとってくださり、相談をしてもとても早くして適切に対応してくださっています。	今後も関係機関との連携をさらに深め、児童や保護者の皆さまの相談に迅速かつ的確に対応できる体制を維持・向上してまいります。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29(97%)	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29(97%)			1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27(90%)			3	見学の際に子どもの持ち物の名前が見えないようにしてあったり、連絡帳に他の子の写真も写っていないなど徹底されておられ、すごいと思います。	これからも個人情報保護を徹底し、適切な管理と運用に努めていきたいと思っています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28(94%)	1		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26(77%)			7		次年度も1年間の内に3回の避難訓練を予定しております。避難訓練実施の際には訓練内容を全ての保護者様へ周知できるようにしたいと思います。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28(94%)	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27(90%)			3			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29(97%)			1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27(90%)	2		1	だいたい楽しみにしている とても楽しみにしております。	次年度も様々な行事を企画し、活動を通して新しい体験が出来るように支援プログラムを工夫していくことで通所を楽しみにしてもらえよな環境作りを目指していきたいと思っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30(100%)				ただし連絡ノートは毎回必ずチェックしてほしい とても、満足しています。接する先生によって子どもってこんなに変わることにびっくりしました。安心感をもって成長する姿に感謝しかありません。	連絡ノートの確認につきましては今後徹底し、さらなる改善を図ります。子どもたちの成長に驚きと喜びを感じていただけるよう、引き続き職員が一丸となり支援に努めてまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Orange西延末		公表日		2025年2月5日		2025年2月5日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		基準に比べて広いスペースを確保しています。相談室や静養室、複数のトイレ、個別活動に使用出来る個室や、小集団活動に使用できる多目的室なども備えています。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		個別、小集団療育のため、通常の10名定員の事業所（2名配置）の倍以上の職員数で療育を行っています。		高い評価を得られていますが、今後も児童の特性に応じた柔軟な職員配置を継続していけるように努めます。今後も個別、小集団療育を継続していけるように努めます。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		訓練室や各指導室は目的に合った備品や教材が備えられ、各児童に合わせて、課題やスケジュールなどが分かりやすく構造化されています。		今後も、目的に応じた分かりやすい部屋分けや、設備の充実にも努めます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日の掃除に加え、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールによる除菌、殺菌消毒を行っています。		毎日の掃除、殺菌消毒を継続し、お子様が安心して過ごせる清潔な環境維持に努めます。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個別対応をするために、個室の部屋を設けています。また、個別対応のために職員配置も多く設定しています。		保護者、職員ともに高い評価を得られているため、今後も継続して個別対応も積極的に実施出来るようにしていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		週1度の会議や、個別支援計画、専門的支援計画を振り返りながら定期的に目標を見直しして支援をしています。		保護者、職員ともに高い評価を得られているため、今後も支援の内容や効果について職員間での共有を行い、支援の向上を目指していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		評価表でのご意見について、即時改善をはかることができるようにしています。評価の回収方法については、できるだけ匿名性を確保してご意見を聞くことが出来るようにしています。		用紙の配布だけでなく、様々な方法でご意見を聞くことが出来るように今後も努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		週に1度の会議やビジネスチャット、個人面談などを行い、意見のくみ上げをしています。		職員それぞれが感じたこと、様々な視点からの意見を集めることでより良い施設を創ることが出来ます。できるだけ意見を出しやすい職場づくりと関係づくりを今後も目指します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		△		他事業所と連携を取り合い、法令順守が出来ていない外部での研修だけでなく、法人内でも新任研修・中堅社員研修、リーダー研修、全職員対象の研修などを実施しています。		他事業所のみでなく、他の障害児通所事業とも連携を取法人内の好事例集を使っての学習や独自の研修会などを今後も継続して行い、職員の資質向上に努めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		他事業所と連携を取り合い、法令順守が出来ていない外部での研修だけでなく、法人内でも新任研修・中堅社員研修、リーダー研修、全職員対象の研修などを実施しています。		他事業所のみでなく、他の障害児通所事業とも連携を取法人内の好事例集を使っての学習や独自の研修会などを今後も継続して行い、職員の資質向上に努めます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		支援プログラムについて作成し、適切であるかの確認を行った後でホームページに公表しています。		公表だけで終わらず、職員が定期的に確認し振り返りを行いながら支援が実施出来るように、定期的な周知などをしていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		アセスメントをもとに計画を立て、事業所全員で確認をして作成をしています。保護者様への確認も行っています。		保護者、職員ともに高い評価を得られていますが、今後もお子様や保護者様のニーズに合わせた計画を作成出来るように努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		計画の作成については、事業所全員で確認を行い、修正が必要か検討し、内容を共有して作成しています。		高い評価を得られているため、今後も職員間で情報共有をして作成していけるように努めます。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成については事業所全員で確認を行い作成し、計画に沿った支援を実施出来るようにしています。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された評価ツールだけでなく、日々の活動の中での行動や言動の観察や記録を行っています。が、全児童が対象ではありません。	児童それぞれの特性によって、正確な数値がはかりにくい場合があるため、様々な方法を考えていく必要があると考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成する際には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の項目を作り、項目に沿った内容で作成出来るようにしています。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事等の活動プログラムはイベント係や母の日などのプレゼント製作の係を作り、立案や全体周知などを行っています。	高い評価を得られているため今後も継続していきますが、全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員に周知しきれなかったと考えて改善していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動時間の中で、様々な体験が出来るように活動を組み立てています。季節のイベントや体験学習、訓練活動などを実施しています。	固定化しないように出来る限り工夫をしています。今後も継続できるように努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		事業所内の様子だけでなく、学校や他事業所、ご家庭での様子を聞き取り、お子様の様子に合わせて個別活動と小集団活動を組み合わせています。	情報共有を行う中で、個別活動を実施しながらも必要なタイミングで小集団活動にも参加出来るように、今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	△		その日の活動や役割分担について、ビジネスチャットや動向表を活用して職員同士で確認を行い支援をしています。	高い評価を得られているため今後も継続していきますが、全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員が活用しきれず、周知しきれなかった部分があると改善していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△		同じ小集団で活動をした職員間で、活動やその日の児童の様子を振り返り、次回以降の活動に活かしていけるようにしています。全体共有が必要なことはありますが、活用して共有しています。	全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員が活用しきれず、周知しきれなかった部分があると改善していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の活動の記録や専門的支援実施記録などを行い、支援を振り返ることが出来るようにしています。	高い評価を得られているため今後も継続していき、記録漏れや共有漏れがないようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	高い評価を得られているため今後も継続していき、モニタリングの内容や、支援計画の見直しの必要性について今後も事業所全員で検討する機会を作っていきます。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日々の活動の中に基本を活動を組み入れ、自立支援や多様な遊びや体験、地域交流、子どもが主体的に参画出来る活動を組み合わせ支援を行っています。	高い評価を得られているため今後も継続し、より良い支援を提供できるように、見直しや改善をしています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の活動の中で自己選択、自己決定をする経験を積み重ねていける支援を行っています。	企業内研修でも自己決定・自己選択についての研修を行い、その重要性を学ぶ機会を作っていますので、今後も続けていきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の日時によって参加が難しいこともありますが、出来る限りその子どものことをよく理解している職員が参加できるようにしています。	その時の支援状況などによって変動してしまう可能性があります。が、今後もその子どものことをよく理解している職員が参加できるように調整していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携しながら支援を行っています。	今後も、関係機関と連携しながらそれぞれのお子様に必要な支援について考え、共有して実施出来るようにしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎場所の確認や時間の確認などを密に行い、間違いないように意識しています。また、お子様の様子の変化などについても共有しています。	今後も密に連絡をとっていき、連携して支援を行うことが出来るようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	△		就学前からOrangeの児童発達支援を利用されていた方も多いため、就学前から情報共有が出来ています。小学生の児童に関しては、必要に応じて前年度の担任の先生と連携しています。	全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員に周知しきれなかった部分があると改善していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		学校を卒業して障害福祉サービスに移行する例がまだ少なく周知ができていません。	今後、学校を卒業して障害福祉サービスに移行する児童がいた場合には、情報共有をして連携をとっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携については、不十分だと感じます。	児童発達支援センターとの連携が不十分のため、できるだけ研修に参加するなどの対策を検討していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△		地域の方にご協力いただき、地域の子どもと一緒に野菜や果物などの収穫体験に参加させていただいています。	全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員に周知しきれなかった部分があると改善していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会への参加が出来ませんでした。	今でも協議会に参加することが出来なかったため、今後参加してけるように検討したいと思います。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やお電話、メールなどを通して、お子様の様子や成長のお話ができるように心がけています。	今後も高い評価を得ることが出来るように、連絡手段を豊富に持ち、細やかな共有が出来るようにしていきたいと思っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		送迎時や、お電話でお話があった際には、積極的に助言や支援ができるように意識しています。	全員が「はい」という評価にはならなかったため、一部職員に周知しきれなかった部分があると考えて改善していきます。また、保護者様のニーズに合わせて研修の機会も検討してけるように努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の重要事項説明にて説明をしています。支援プログラムについては、ホームページにて常時公表し、いつでも確認できるようにしています。	高い評価を得られているため今後も継続していきます。必要な情報をいつでも確認できるようにしておきたいと思えます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子様の様子をよく理解している職員や専門職員が連携し、お子様の最善の利益とご家族の意見を踏まえて計画書を作成しています。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。また、今後も継続ご家族の意向を連絡ノートや電話、メールなどでお聞きして、ご意向に沿った支援が出来るようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者様に確認をいただき、同意のサインをいただいてから支援の提供を行っております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1回の面談により、直接聞き取りを行っています。それ以外にも、送迎時やお電話等でお話があった際には聞き取りや助言をさせていただいております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。研修などを通して、聞き取りの重要なポイントなどを今後も周知していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△		試験的に、卒業した児童のお母様に協力いただき、進学についての相談を共有する交流会を実施しました。今後も交流の機会を検討し、希望される方が参加出来るようにしたいと思っています。	対象者が限られており、全ての方に参加いただくことは出来なかったため、今後交流の場をどのように設定していくか考えていきたいと思えます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて説明させていただいており、申し入れがあった際には迅速な対応に努めております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページにて、予定のお知らせや活動のご紹介をするとともに、通信の発行もしております。ホームページにて、警報時の情報も載せております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報について、鍵付きの書庫にて保管されており、必要時のみの使用としております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。また、連絡帳の写真にも他の児童ができるだけ映らないようにすることなどについても今後も徹底していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々の送迎時の申し送りだけでなく、メールや電話、連絡ノートでのやりとり、写真つき連絡帳をお渡しするなど、情報伝達的手段を多く持つようにはしております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の行事やイベントへの参加は積極的に参加はしていますが、障害特性上のごともあり、地域の方の招待することは出来ていません。	地域の方の招待については、安全確保の点や児童の特性を踏まえて、現状は困難であると考えています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルが備え付けられており、定期的に研修を行い従業員に周知しております。必要に合わせてご覧いただけます。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。マニュアルの内容についての工夫も考えていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練は消防に届け出をして年に3回、その他の訓練についても定期的に実施しております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。今後も、会議での周知や防災訓練を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートに項目を設けて、保護者様に聞き取りを行うとともに、服薬が必要な行事などの際には服薬状況の再確認をしております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。服薬状況の変化があった際には、職員全員で情報共有をしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的には事業所で食事は提供せず、おやつも選択して選んでもらうため保護者様を通じて医師の指示を聞くという場合が多いです。	医師の指示書については、保護者様からの自己申告が中心となっておりますので、直接指示書をもらう必要性については事業所内で検討していきたいと思えます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修や訓練を実施しております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の作成を行い、契約時のご説明にて情報共有させていただいております。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。また、災害時に備えて定期的に事業所内で周知できるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		年に1度の研修を行うとともに、ヒヤリハットの事例が起こった場合は全員に回覧・共有し、再発防止に取り組んでいます。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止法研修を毎年行っております。虐待がなぜ起こるのかという背景などについて様々な視点から考える研修となっています。	高い評価を得られているため、今後も継続してけるように努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		計画に身体拘束についての一文を入れさせていただき、保護者様に説明させていただいております。	高い評価を得られているため、今後も周知を徹底してけるように努めます。